

令和7年度 学校経営方針



「チーム長岡聾」～組織力の安定による揺るぎない学校運営～

学校組織を盤石なものにすることで、本来の教育実践の成果を最大限に発揮できると共に、多様な対応事案にも落ち着いて的確に向き合えます。その基礎的な要因が、情報の流れです。「報告・連絡・相談」さらに「確認」を徹底します。全教職員が、組織の一員としての意識を強くもって、「チーム長岡聾」を作っていきます。

「継承と発展」～常に進歩する学校～

創立121年目。伝統ある本校の教育の継承とは、単なる踏襲とは異なります。常に、なぜ、何のためという目的や意義を考え、教育活動を見直し、時代のニーズに応じた改善の積み重ねがあります。今年度も変えること、新規に取り入れること、止めること等、改革・改善の視点を大切にしていきます。教職員一人一人が改革者です。常に進歩する学校を目指します。

「凡事徹底」～当たり前を確実に～

日々の学校運営や教育実践は、地道でいいに行わなければなりません。当たり前を確実にとは、人間として、社会人としての良識、職業人としての良識、そしてそれぞれの専門職としての良識にしたがって行動するということです。

「言葉にこだわる教職員」～正しい言葉、生きた言葉～

聾学校はことばの学校でもあります。子供たちの発音・発語を促し、生活中から言葉を育てていきます。そのために、教職員は自分で使う言葉に、子供に教える言葉にこだわります。そして、音声言語、書記言語ともに、正しい言葉とは何か、生きた言葉とは何かを考え、実践を重ねます。

【重点項目】

1 確かな教育実践を進めます。

- 少人数の良さを生かした分かる授業を推進します。
- 聾学校だけで完結しない交流及び共同学習を推進します。
- 進路実現に結びつくキャリア教育を推進します。

2 安全・安心な学校運営を行います。

- 一人一人を大切にする生徒指導を実施します。
- きこえの状態に寄り添う聴能指導を実施します。
- 自立と生活力を高める寄宿舎指導を実施します。

3 センターの機能の充実を図ります。

- 関係機関と連携し、複数で支援する体制の充実を図ります。
- 困り感に寄り添う乳幼児教室・教育相談の充実を図ります。
- 地域での通級指導教室の充実を図ります。